

夢 現

～ 自分と向き合う ～

愛西市立八開中学校

2年学年通信

令和3年11月8日

No. 14 (道徳)



「自然を守るとは、ということだろう」～道徳「僕の職場は富士山です」を通して考えました～

富士山のガイドをしている筆者は、美しい富士山だけでなく、さまざまな富士山の姿についても知ってほしいと思うようになりました。筆者が最も大事にしているのは「体験して知ること」です。清掃活動では、どんなものが捨てられているか、実態を把握してもらうことから始めます。それは、ごみを拾うだけではなく、「ごみを捨てない」意識を育てることが目的だからだと言います。富士山を今よりもっとよい状態で未来の子供たちへ返していきたい、それが筆者の願いです。

富士山のガイドをする近藤光一さんの活動や思いを述べた文章を通して、自然を守ることについて考えました。

●● ●●さん

自然を守るとは、未来の地球を守ることだと思った。

●● ●●さん

自然を守るとは、自分たちの生活を守ることだと思った。(自分たちは自然によってリフレッシュできたり、自然と関わる仕事も多いから)

●● ●●くん

自然を守るとは、自然を保つために掃除をしたり自然に対して良い環境にしたりすることだと思った。

●● ●●くん

自然を守るとは、未来を作る、人が生き続けるために必要なことだと思った。

●● ●●くん

自然を守るとは、自然を大切に自然のままにすることだと思った。

●● ●●くん

自然を守るとは未来に繋げることだと思う。なぜなら自然を守ることによって持続可能な社会が続くから。

●● ●●さん

自然を守るとは、元の姿を残して動物や植物が過ごせる状態にすることだと思った。

●● ●●さん

自然を守るとは、自然を汚さず、自然をそのままの形で守っていくことだと思った。

●● ●●さん

自然を守るとは、富士山だけではなく日本や、世界にある自然の問題を人々が知り、深刻さや改善しようとしている自治体の人の思いも知って、どうすればいいか何ができるか考え実行していくこと。調べたり、募金したり、新聞やニュースで取り上げたり、実際に活動することだと思った。

●● ●●くん

友達の意見から、自然を守ることによって色々な連鎖反応が起こって、よりよい暮らしにできるんだとわかった。

●● ●●さん

自然があるからこそ今の生活ができているだと分かった。



●● ●●さん

自然を守るためによりよくする活動を耳にすることはたくさんあったけど、あまり意識が向くことはなかった。けど今回で自然の状態を悪くしたまま次の子供達に渡してはダメだという意識は身についた。

●● ●●くん

自然を大切にすることとは人々の生活を守ること未来の子供達に自然の美しさを伝えることだと思った。自分も身の回りから綺麗にしていく意識をもちたい。

●● ●●さん

「自然は生活。」っていうのがすごく共感した。川とか海がなかったら生活は崩れるから自然と生活っていうのは繋がっているんだと思った。

●● ●●さん

自然を守ると言っても、自分たちにできることって少ないし、限られてるから、何ができるかよくわかっていない。特に子供なんて何の力も持ってない。けれど、ゴミを産まないことや、拾うことはできる。自然を守りたいなら、大きなことよりも、小さなことから始めるのが正しいのかなと思った。

●● ●●さん

みんな、「意識をする、意識をもつ」と言っているけど、私は意識をするだけでは何も変わらない気がする。意識をすることも大切だけど、ごみが落ちていたら拾うっていうささやかな行動が積み重なって、日本の自然を守っていくと思う。

●● ●●くん

ポイ捨てなんて生まれてから一度もやってないし、自然を守るのは、当たり前だと思ってから、個人的には、あまり意識が変わらなかった。

●● ●●くん

僕は「今よりもっと良い状態で返していきたい」の「返していきたい」に引っかかりました。僕は未来の子供達からの大切な借り物という言葉にその言葉とはどういう意味なのだろう、「今よりもっと良い状態で未来に繋げていきたい」でいいんじゃないかなと思った。

